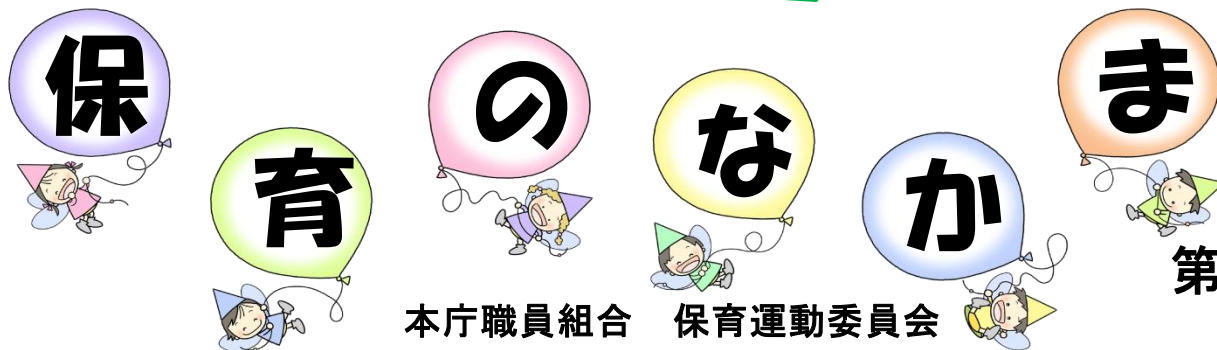


みんなで知ろう認定こども園



第53号

平成27年8月31日
福井市職員組合 学習会班

7月25日ユニオンプラザ福井で行われた学習会「みんなで知ろう認定こども園」にたくさんの方がご参加くださいましてありがとうございました。

色々な話を聞くことで、認定こども園への移行の不安も少し軽減されたのではないかと思います。

これを機会に、みんなで関心を持っていきましょう。

なお、当日は会場が暑くて申し訳ありませんでした・・・。実は冷房設備が外のあまりの気温の高さに対応できませんでした。



■あいさつ 本庁職員組合執行委員長 野路一洋氏

■議会報告 市議会議員 村田耕一氏

■組合の仕組みと活動について 福井市職労書記長 野田哲生氏

■認定こども園について 子育て支援室 吉田裕彦副課長

公立幼保連携型認定こども園の開設について、『公立幼稚園が同一地区にある公立保育園の園児は5歳児になると幼稚園入園が慣習化していたが、近年保護者の就労状況等により保育園に残る園児が増加している。同一年次の幼児が幼稚園と保育園に分散し、集団生活の観点から望ましくない状況になりつつあることから、公立幼保連携型認定こども園を開設していくことになった』という福井市の現在の取り組みをお聞きしました。(別紙資料参照)

■講演会「みんなで知ろう 認定こども園」

あわら市子育て支援センター 所長 赤神敏江氏

あわら市がまだ合併前で芦原町の幼稚園時代に、幼稚園で保育士として働いた経験をお持ちで、現在はあわら市の認定こども園について周知された講師の話を
お聞きすることで、こども園での子どもたちの生活がよく分かり、
またこども園開設に向けてすべきことは何かをイメージすることが
できて大変勉強になりました。



■たくさんのアンケートの回答ありがとうございました。

- ・あわら市の現状を知ることができて、認定こども園のイメージを持つことができてよかった。
- ・まず子ども第一の気持ちを今までのように持ち、新しい環境にも対応していけるようにしていきたい。
- ・組合の活動について説明があったので良かった。

といった意見が多数聞かれました。

また今後の課題として、次のようなものがありました。

- ・日頃の業務に流され、今後のことについてアンテナを張っていない自分に危機感を持った。
- ・あわら市の場合、大きな混乱もなく移行できたようだが人口の多い福井市でもスムーズにいくのかなと思った。
- ・その都度進捗状況については知る機会をいただくとありがたい。
- ・共済組合(市町村共済組合か学校共済組合になるのか)については不安がある。
- ・保護者の意向を踏まえて理解してもらえるよう、時間をかけて取り組むことが課題。
- ・保育園の保育士と幼稚園の先生では考え方や意識が違うと思うので一緒に勉強する場があると良い。

これからも一人ひとりが色々な情報にアンテナを張っていきましょう！

